

・教員のICT活用指導力に関する調査

以下の項目について、4つの中からあてはまるものに、1つだけをつけてください。

		わりに できる	やや できる	あまり できない	ほとんど できない
A1	教育効果をあげるには、どの場面にどのようにしてコンピュータやインターネットなどを利用すればよいかを計画する。	()	()	()	()
A2	授業で使う教材や資料などを集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する。	()	()	()	()
A3	授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	()	()	()	()
A4	評価を充実させるために、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して生徒の作品・学習状況・成績などを管理し集計する。	()	()	()	()
B1	学習に対する生徒の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	()	()	()	()
B2	生徒一人一人に課題意識をもたせるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	()	()	()	()
B3	わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	()	()	()	()
B4	学習内容をまとめる際に生徒の知識の定着を図るために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などをわかりやすく提示する。	()	()	()	()
C1	生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。	()	()	()	()
C2	生徒が自分の考えをワープロソフトで文章にまとめたり、調べた結果を表計算ソフトで表やグラフなどにまとめたりすることを指導する。	()	()	()	()
C3	生徒がコンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、わかりやすく説明したり効果的に表現したりできるように指導する。	()	()	()	()
C4	生徒が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する。	()	()	()	()
D1	生徒が情報社会への参画にあたって責任ある態度と義務を果たし、情報に関する自分や他者の権利を理解し尊重できるように指導する。	()	()	()	()
D2	生徒が情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を理解し、反社会的な行為や違法な行為などに対して適切に判断し行動できるように指導する。	()	()	()	()
D3	生徒がインターネットなどを利用する際に、情報の信頼性やネット犯罪の危険性などを理解し、情報を正しく安全に活用できるように指導する。	()	()	()	()
D4	生徒が情報セキュリティに関する基本的な知識を身に付け、コンピュータやインターネットを安全に使えるように指導する。	()	()	()	()
E1	校務分掌や学級経営に必要な情報をインターネットなどで集めて、ワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料などを作成する。	()	()	()	()
E2	教員間、保護者・地域の連携協力を密にするため、インターネットや校内ネットワークなどを活用して、必要な情報の交換・共有化を図る。	()	()	()	()

3. 電子黒板（テレビ型）の活用効果について

今回導入したデジタルテレビに、電子黒板機能があるタイプについて、回答してください。

子どもの意欲を高めることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

子どもの理解を高めることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

子どもの表現や技能を高めることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

子どもの思考を深めたり広げたりすることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

どんな教科や領域等で活用すると、効果的だと思いますか。 複数回答可

国語 社会 数学 理科 音楽 英語
 美術 保健体育 技術・家庭 道徳 学活
 総合的な学習の時間 行事関連 その他 []

1時間の授業の中で、どんな場面で活用すると、効果的だと思いますか。 複数回答可

授業の導入場面 授業の展開場面 授業の終末場面

単元の中で、どんな場面で活用すると、効果的だと思いますか。 複数回答可

単元の導入部分 単元の展開部分 単元の終末部分

電子黒板（テレビ型）の特長の中で、効果的だと思うものを選んでください。 複数回答可

画質がきれいであること 画面のサイズが大きいこと
 動きの速い映像が鮮明に見えること データ放送が利用できること
 画面が明るいこと 画面上で簡単に操作できること
 音声がはっきりと出ること データが保存できること
 その他 []

4. 今後の活用について

電子黒板（テレビ型）を活用する上で、今後必要だと思うことを選んでください。 複数回答可

すべての教室に整備する 映像コンテンツを充実させる
 より性能のよい機器を整備する データ放送の内容を充実させる
 その他 []

今後、授業の中で電子黒板（テレビ型）を活用していきたいと思いませんか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

最後まで回答いただき、ありがとうございました。

2. 電子黒板の活用により得られる学習効果等に関するアンケート (中学校用)

学校名 []
整理番号 []

このアンケート調査は、授業での電子黒板の活用や教員のICT活用指導力について回答いただき、客観的な評価方法を用いて分析し、その教育効果を検証することを目的としています。データ処理においては、回答者個人が特定できないように処理しますので、安心してご回答ください。どうぞよろしくお願いいたします。

電子黒板活用により得られる学習効果等に関する調査検討会

. 回答者の基本情報

1. 年齢

20代前半 20代後半 30代前半 30代後半
 40代前半 40代後半 50代前半 50代後半

2. 性別

男性 女性

3. 教員歴

1～10年目 11～20年目 21～30年目 31年以上

4. 学習指導で、コンピュータなどのICTを活用し始めて何年になりますか。

1年未満 1～5年 6～10年
 11～15年 16～20年 21年以上

5. これまでに、校務分掌でICT活用や情報教育の担当をどの程度したことがありますか。

2回以上 1回 担当したことがない

6. 授業の中で、ICTをどの程度活用していますか。

ほぼ毎日 週に1回程度 月に1回程度 使用しない

7. 情報モラルの指導をどの程度実施したことがありますか。

5回以上 2～3回 1回 0回

8. 校務分掌や成績処理などで、ICTをどの程度活用していますか。

ほぼ毎日 週に1回程度 月に1回程度 使用しない

・教員のICT活用指導力に関する調査

以下の項目について、4つの中からあてはまるものに、1つだけをつけてください。

		わりに できる	やや できる	あまり できない	ほとんど できない
A1	教育効果をあげるには、どの場面にどのようにしてコンピュータやインターネットなどを利用すればよいかを計画する。	()	()	()	()
A2	授業で使う教材や資料などを集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する。	()	()	()	()
A3	授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	()	()	()	()
A4	評価を充実させるために、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して児童の作品・学習状況・成績などを管理し集計する。	()	()	()	()
B1	学習に対する児童の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	()	()	()	()
B2	児童一人一人に課題を明確につかませるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	()	()	()	()
B3	わかりやすく説明したり、児童の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	()	()	()	()
B4	学習内容をまとめる際に児童の知識の定着を図るために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などをわかりやすく提示する。	()	()	()	()
C1	児童がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。	()	()	()	()
C2	児童が自分の考えをワープロソフトで文章にまとめたり、調べた結果を表計算ソフトで表やグラフなどにまとめたりすることを指導する。	()	()	()	()
C3	児童がコンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、わかりやすく説明したり効果的に表現したりできるように指導する。	()	()	()	()
C4	児童が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する。	()	()	()	()
D1	児童が発信する情報や情報社会での行動に責任を持ち、相手のことを考えた情報のやりとりができるように指導する。	()	()	()	()
D2	児童が情報社会の一員としてルールやマナーを守って、情報を集めたり発信したりできるように指導する。	()	()	()	()
D3	児童がインターネットなどを利用する際に、情報の正しさや安全性などを理解し、健康面に気をつけて活用できるように指導する。	()	()	()	()
D4	児童がパスワードや自他の情報の大切さなど、情報セキュリティの基本的な知識を身につけことができるように指導する。	()	()	()	()
E1	校務分掌や学級経営に必要な情報をインターネットなどで集めて、ワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料などを作成する。	()	()	()	()
E2	教員間、保護者・地域の連携協力を密にするため、インターネットや校内ネットワークなどを活用して、必要な情報の交換・共有化を図る。	()	()	()	()

3. 電子黒板（テレビ型）の活用効果について

今回導入したデジタルテレビに、電子黒板機能があるタイプについて、回答してください。

子どもの意欲を高めることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

子どもの理解を高めることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

子どもの表現や技能を高めることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

子どもの思考を深めたり広げたりすることに効果的だと思いますか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

どんな教科や領域等で活用すると、効果的だと思いますか。 複数回答可

国語 社会 算数 理科 音楽
 図工 体育 家庭 道徳 学活
 総合的な学習の時間 行事関連 その他 []

1時間の授業の中で、どんな場面で活用すると、効果的だと思いますか。 複数回答可

授業の導入場面 授業の展開場面 授業の終末場面

単元の中で、どんな場面で活用すると、効果的だと思いますか。 複数回答可

単元の導入部分 単元の展開部分 単元の終末部分

電子黒板（テレビ型）の特長の中で、効果的だと思うものを選んでください。 複数回答可

画質がきれいであること 画面のサイズが大きいこと
 動きの速い映像が鮮明に見えること データ放送が利用できること
 画面が明るいこと 画面上で簡単に操作できること
 音声がはっきりと出ること データが保存できること
 その他 []

4. 今後の活用について

電子黒板（テレビ型）を活用する上で、今後必要だと思うことを選んでください。 複数回答可

すべての教室に整備する 映像コンテンツを充実させる
 より性能のよい機器を整備する データ放送の内容を充実させる
 その他 []

今後、授業の中で電子黒板（テレビ型）を活用していきたいと思いませんか。 どれか一つ

とてもそう思う 少しそう思う あまり思わない まったく思わない

最後まで回答いただき、ありがとうございました。

3. 今年度初めて 電子黒板を活用した授業に関するアンケート

今年度初めて電子黒板を活用した授業の直後に回答してください。
今回導入したデジタルテレビに、電子黒板機能があるタイプについて、回答してください。

整理番号()

1. 電子黒板を活用した授業について

電子黒板を活用した学年・教科を記入してください。

学年 [] 年 教科名 []

授業のどの場面で活用しましたか。 複数回答

() 導入場面 () 展開場面 () 終末場面

授業の中で誰が電子黒板を使っていましたか。

() 主に教員 () 主に児童生徒 () 教員と児童生徒の両方

電子黒板を活用した場所はどこですか。

() 普通教室 () コンピュータ教室 () 特別教室 () 体育館
() 運動場 () 屋外 () 共通スペース
() その他 []

授業の中で、どのような形態で活用しましたか。 複数回答

() 一斉学習 () グループ学習 () 個別学習 () 補習
() その他 []

電子黒板を活用する上で、どんな目的で活用しましたか。 複数回答

() 課題の提示 () 動機付け () 教員の説明資料
() 学習者の説明資料 () 繰り返しによる定着
() モデルの提示 () 失敗例の提示 () 体験の想起
() 比較 () 振り返り () 体験の代行
() その他 []

電子黒板以外に、活用した機器等がありましたか。[授業の準備も含む] 複数回答

() コンピュータ () プロジェクタ () 電子情報ボード
() 実物投影機(OHC・書画カメラ) () ビデオカメラ
() デジタルカメラ () プリンタ () スキャナー
() インターネット () CD-ROM () DVD-ROM
() スピーカー () その他 []

授業の中で、電子黒板をどのように使いましたか。 複数回答

() 静止画を見せる () 動画を見せる () プレゼンのスライドを見せる
() シミュレーションを見せる () アニメーションを見せる
() 静止画に書き込む () 動画に書き込む () 学習課題やねらいを書く
() 説明を書く () サイドライン等を引く () 大事なところを丸で囲む
() 矢印を書く () その他 []

電子黒板を活用した授業の中で、従来の黒板にも板書するように気をつけていたと思いますか。

() とてもそう思う () 少しそう思う () あまり思わない () まったく思わない

(別紙様式5)

電子黒板の活用に関する記録用紙

[小学校 []号機 記録期間 []月 []日 []

※実証授業に該当するかどうかにかかわらず、電子黒板を活用した全ての授業(または活用場面)について記録してください

※電子黒板1台につき本用紙1枚をセットし、授業前後(または活用前後)に記入してください

※選択式の項目については、該当する箇所にて☑をつけてください

※「活用機会」について「授業で活用」以外のいずれかを選択し、選択した列のみに回答してください

※各校で均等のため、毎月5日に提出してください。

複数回答可

実証授業の場合…○を記入

No	活用日	活用機会	学年	教科/場面	単元・題材名/目的	活用した場所	活用した場面	活用した者	活用した目的 ※「授業以外での活用」の場合:自由記述	活用したコンテンツ	授業実施者	実証授業
記入例	9/7	<input checked="" type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用 <small>いずれかを選択し授業以外の場合は記入欄に○を記入してください</small>	5年	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 算数 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	平行四辺形の面積	<input checked="" type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input checked="" type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	※「授業以外での活用」の場合:自由記述 <input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他の()	・小学校算数シミュレーション [東京書籍] ・児童ノート(実物投影機)	文部 太郎	<input type="checkbox"/>
1		<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用		<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	家庭でのインフルエンザ対策の説明	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input checked="" type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	※「授業以外での活用」の場合:自由記述 <input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他の()	・養護教諭のオリジナルPPT	内田 洋子	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用		<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	※「授業以外での活用」の場合:自由記述 <input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他の()			<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用		<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	※「授業以外での活用」の場合:自由記述 <input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他の()			<input type="checkbox"/>

4	<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 共通スペース <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
5	<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 共通スペース <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
6	<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 共通スペース <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
7	<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 共通スペース <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
8	<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 共通スペース <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	

電子黒板の活用に関する記録用紙

※実証授業に該当するかどうかに関わらず、電子黒板を活用した全ての授業(または活用場面)について記載してください。
 ※電子黒板1台につき本用紙1枚をセットし、授業前後(または活用前後)に記入してください。
 ※選択式の項目については、該当する箇所に☑をつけてください。
 ※「活用機会」について「授業で活用」・「授業以外で活用」のいずれかを選び、選択した列の項目を記入してください。
 ※各校でとりよめの上、毎月5日に提出してください。

No	活用日	活用機会	学年	教科/場面	単元・題材名/目的	活用した場所	活用した場面	活用した者	※「授業以外での活用」の理由: 自由記述	活用したコンテンツ	授業実施者	実証授業
記入例	9/7	<input checked="" type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用 <small>いづれかを重畳記載してください。</small>	5年	国語 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input checked="" type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	連立方程式	<input checked="" type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input checked="" type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	※「授業以外での活用」の理由: 自由記述 <input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示	・まなびDVDPlus[啓林館] ・児童ノート(実物投影機)	文部 太郎	<input type="checkbox"/>
1		<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用		<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()	家庭でのインフルエンザ対策の説明	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input checked="" type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示	・写真の提示と書き込みによる正確な伝達(マスクのつけ方について)	内田 洋子	<input type="checkbox"/>
2		<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用		<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示			<input type="checkbox"/>
3		<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用		<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示			<input type="checkbox"/>

4	<input type="checkbox"/> 授業で活用 <input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
5	<input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
6	<input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
7	<input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	
8	<input type="checkbox"/> 授業以外で活用	<input type="checkbox"/> ホームルーム <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 保護者の集会・説明会など <input type="checkbox"/> 校内の会議・研修会など <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 保健体育 <input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動	<input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 <input type="checkbox"/> コンピュータ教室 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	<input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 学習者の説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他()	

資料2 児童生徒を対象にした調査票

1. 国語用アンケート用紙（高学年・中学校用）

国語 アンケート調査 ○月○日

年 組 なまえ()

このアンケートは、みなさんが思ったことや感じたことを書いて、よりよい授業を考えるためのものです。テストではありませんので、思ったことや感じたことを素直に書いてください。

1. 今日の授業について

(1) 楽しく学習することができたと思いますか。

(2) 進んで参加することができたと思いますか。

(3) 友だちと協力して参加することができたと思いますか。

(4) 今日の学習は満足できたと思いますか。

(5) 授業に集中して取り組むことができたと思いますか。

(6) 学習したことをもっと調べてみたいと思いますか。

(7) 相手や目的に合わせて、わかりやすく話すことができたと思いますか。

(8) 先生や友達の話最後までしっかり聞くことができたと思いますか。

(9) 他の考えと比べて、同じ点や違う点を見つけることができたと思いますか。

(10) 考えをお互いに発表し合い、自分の考えを深めることができたと思いますか。

(11) 発表に必要な資料を見せながら説明することができたと思いますか。

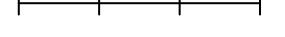
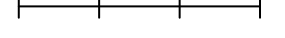
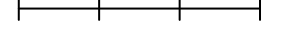
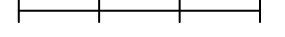
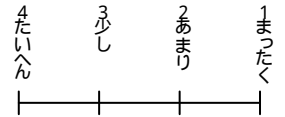
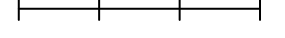
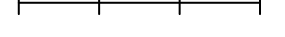
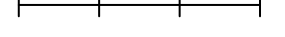
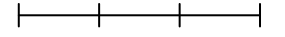
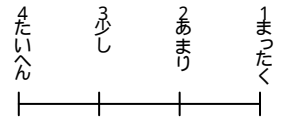
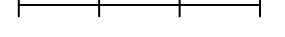
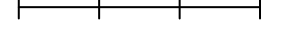
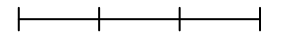
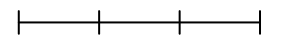
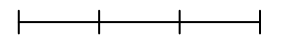
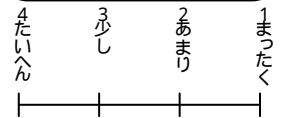
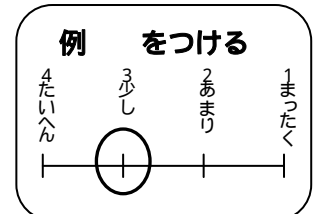
(12) わかりやすく伝わるように、工夫して書くことができたと思いますか。

(13) 文章全体の組み立てを考えて書くことができたと思いますか。

(14) 調べたことや考えたことを、順序よく文章に書くことができたと思いますか。

(15) 相手や目的によって、簡単に書いたり詳しく書いたりすることができたと思いますか。

(16) 書いた文章の良いところを見つけたり、まちがいを正したりすることができたと思いますか。



(17)大切な文章や言葉に気をつけて、正しく読むことができたと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

(18)作者の伝えたいことを考えながら読むことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(19)作品を読んで、自分の感想や考えを持つことができたと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

(20)学習した物語や説明文に係る本に親しむことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(21)登場人物の気持ちや立場を考えながら読むことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(22)言葉や漢字を進んでおぼえて、文や文章の中で使うことができたと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

(23)送りがなや仮名づかいに気をつけて、正しく書くことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(24)学習した漢字を正しく読むことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(25)学習した漢字を正しく使って、文章を書くことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(26)辞書を使って、言葉を進んで調べることができたと思いますか。

-------	--	--	--

(27)自分にあった方法やスピードで進めることができたと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

(28)学習のめあてをしっかりとつかむことができたと思いますか。

-------	--	--	--

(29)学んだ内容をこれからの学習に役立つと思いますか。

-------	--	--	--

(30)学習したことは、これから自分でもできそうだなと思いますか。

-------	--	--	--

(31)あなたは国語が好きだと思いますか。

-------	--	--	--

(32)国語の勉強は、得意な方だと思えることがありますか。

-------	--	--	--

(33)国語の勉強ができるようになりたいと思いますか。

-------	--	--	--

(34)国語の授業で、「勉強してよかったな」と思うことがありますか。

-------	--	--	--

今日の学習について、感想を自由に書いてください。

(自由意見)

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

このページは、ICTを活用した場合（活用した授業）で実施してください。

ICTを活用していない授業では実施しなくてもかまいません。

2. 電子黒板を使った授業について

先生が電子黒板を使って説明するのは、わかりやすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

自分や友だちが電子黒板を使って発表するのは、わかりやすいと思いますか。

--	--	--	--

電子黒板を使った授業をもっと受けてみたいと思いますか。

--	--	--	--

他の教科でも、電子黒板を使った授業を受けてみたいと思いますか。

--	--	--	--

授業中に、自分が電子黒板を使って発表してみたいと思いますか。

--	--	--	--

授業中に、友だちが電子黒板を使って発表するのを聞いてみたいと思いますか。

--	--	--	--

3. 電子黒板について

電子黒板の写真や絵、図などは、きれいで見やすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

電子黒板の写真や絵、図などは、大きくて見やすいと思いますか。

--	--	--	--

電子黒板の画面は、広くて、見やすいと思いますか。

--	--	--	--

電子黒板の画面は、明るくて、見やすいと思いますか。

--	--	--	--

電子黒板にペンや手で文字や絵などを書くのは、書きやすいと思いますか。

--	--	--	--

電子黒板にペンや手で書くのは、何度も書き直すことができ便利だと思いますか。

--	--	--	--

電子黒板とふつうの黒板では、どちらを使ってほしいと思いますか。

下の3つの中から、1つに をつけてください。

() 電子黒板 () ふつうの黒板 () 両方 (電子黒板 + ふつうの黒板)

4. 電子黒板やコンピュータなどを使った授業について感想を自由に書いてください。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

2. 算数・数学用アンケート用紙 (高学年・中学校用)

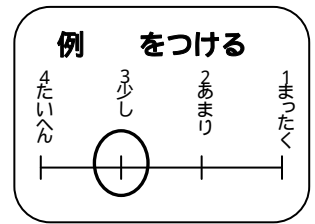
算数・数学 アンケート調査 月 日

年 組

なまえ

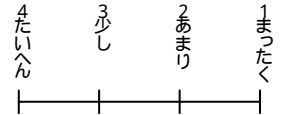
()

このアンケートは、みなさんが思ったことや感じたことを書いて、よりよい授業を考えるためのものです。テストではありませんので、思ったことや感じたことを素直に書いてください。

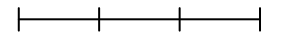


1. 今日の学習について

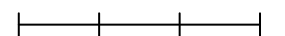
(1) 楽しく学習することができたと思いますか。



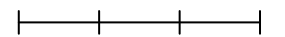
(2) 進んで授業に参加することができたと思いますか。



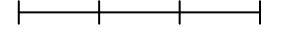
(3) 友だちと協力して参加することができたと思いますか。



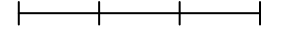
(4) 今日の学習は満足できたと思いますか。



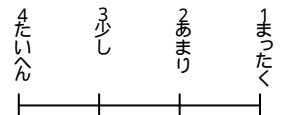
(5) 授業に集中して取り組むことができたと思いますか。



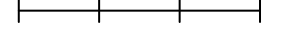
(6) 学習したことをもっと調べてみたいと思いますか。



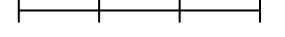
(7) 他の考えと比べて、同じ点や違う点を見つけることができたと思いますか。



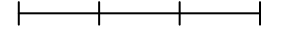
(8)じっくりと考えて、自分の考えを深めることができたと思いますか。



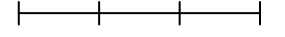
(9)自分で問題の解き方を考えることができたと思いますか。



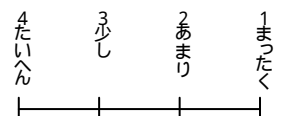
(10) [] について、順序立てて考えることができたと思いますか。



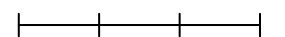
(11) [] について、工夫して解くことができたと思いますか。



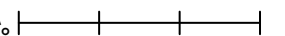
(12)自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができたと思いますか。



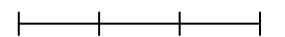
(13)学習したことを、ノートなどにわかりやすくまとめることができたと思いますか。



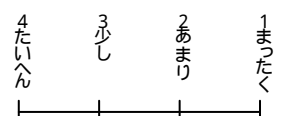
(14) [] について、正しく表したり求めたりすることができたと思いますか。



(15) [] について、いろいろな方法で表したり求めたりすることができた
と思いますか。



(16) [] について、自分なりに工夫して表現できたと思いますか。



(17)学習した内容を覚えることができたと思いますか。

(18)学習した内容を友だちや先生に正しく説明できると思いますか。

(19) [] について、その公式や答えの求め方がわかりましたか。

(20) [] について、正しく答えを出すことができたと思いますか。

(21) [] について、その意味や仕方はわかりましたか。

4
たい
へん
3
少
し
2
あ
ま
り
1
ま
っ
た
く

(22)自分にあった方法やスピードで進めることができたと思いますか。

(23)学習のめあてをしっかりとつかむことができたと思いますか。

(24)学んだ内容はこれからの学習に役立つと思いますか。

(25)学習したことは、これから自分でもできそうだなと思いますか。

(26)あなたは算数が好きだと思いますか。

(27)算数の勉強は、得意な方だと思えることがありますか。

(28)算数の勉強ができるようになりたいと思いますか。

(29)算数の授業で、「勉強してよかったな」と思えることがありますか。

今日の学習について、感想を自由に書いてください。

(自由意見)

このページは、ICTを活用した場合（活用した授業）で実施してください。

ICTを活用していない授業では実施しなくてもかまいません。

2. 電子黒板を使った授業について

先生が電子黒板を使って説明するのは、わかりやすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

自分や友だちが電子黒板を使って発表するのは、わかりやすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板を使った授業をもっと受けてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

他の教科でも、電子黒板を使った授業を受けてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

授業中に、自分が電子黒板を使って発表してみたいと思いますか。

-------	--	--	--

授業中に、友だちが電子黒板を使って発表するのを聞いてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

3. 電子黒板について

電子黒板の写真や絵、図などは、きれいで見やすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

電子黒板の写真や絵、図などは、大きくて見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板の画面は、広くて、見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板の画面は、明るくて、見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板にペンや手で文字や絵などを書くのは、書きやすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板にペンや手で書くのは、何度も書き直すことができ便利だと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板とふつうの黒板では、どちらを使ってほしいと思いますか。

下の3つの中から、1つにをつけてください。

() 電子黒板 () ふつうの黒板 () 両方 (電子黒板 + ふつうの黒板)

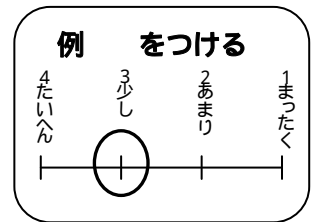
4. 電子黒板やコンピュータなどを使った授業について感想を自由に書いてください。

3. 理科用アンケート用紙（高学年・中学校用）

理科 アンケート調査 ○月○日

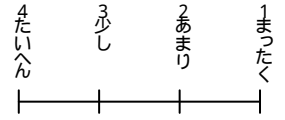
年 組 なまえ()

このアンケートは、みなさんが思ったことや感じたことを書いて、よりよい授業を考えるためのものです。テストではありませんので、思ったことや感じたことを素直に書いてください。

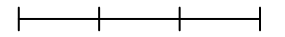


1. 今日の授業について

(1) 楽しく学習することができたと思いますか。



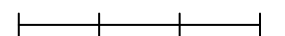
(2) 進んで参加することができたと思いますか。



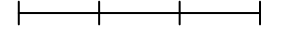
(3) 友だちと協力して参加することができたと思いますか。



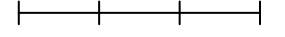
(4) 今日の学習は満足できたと思いますか。



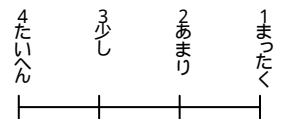
(5) 授業に集中して取り組むことができたと思いますか。



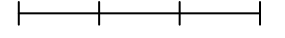
(6) 学習したことをもっと調べてみたいと思いますか。



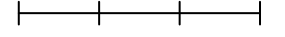
(7) 他の考えと比べて、同じ点や違う点を見つけることができたと思いますか。



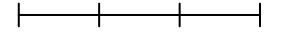
(8) じっくりと考えて、自分の考えを深めることができたと思いますか。



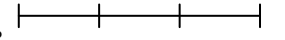
(9) 自分で観察や実験の方法を考えることができたと思いますか。



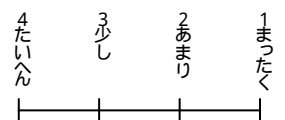
(10) [] について、順序立てて考えることができたと思いますか。



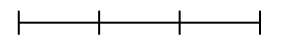
(11) [] について、工夫して観察や実験を行うことができたと思いますか。



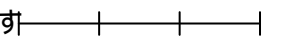
(12) 観察や実験からわかったことや考えたことを、わかりやすく伝えることができたと思いますか。



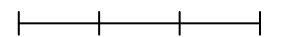
(13) 観察や実験からわかったことや考えたことを、ノートなどにわかりやすくまとめることができたと思いますか。



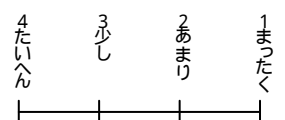
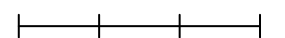
(14) [] について、正しい方法で、観察や実験を行うことができたと思いますか。



(15) [] について、自分なりに工夫して表現できたと思いますか。



(16) [] について、いろいろな方法で調べることができたと思いますか。



(17)学習した内容を覚えることができたと思いますか。

(18)学習した内容を友だちや先生に正しく説明できると思いますか。

(19) [] について、その調べ方を理解することができたと思いますか。

(20) [] について、その工夫や努力を理解することができたと思いますか。

(21) [] について、その働き（仕組み）や役割を理解することが
できたと思いますか。

(22)自分にあった方法やスピードで進めることができたと思いますか。

(23)学習のめあてをしっかりとつかむことができたと思いますか。

(24)学んだ内容をこれからの学習に役立つと思いますか。

(25)学習したことは、これから自分でもできそうだなと思いますか。

(26)あなたは理科が好きだと思いますか。

(27)理科の勉強は、得意な方だと思ふことがありますか。

(28)理科の勉強ができるようになりたいと思いますか。

(29)理科の授業で、「勉強してよかったな」と思ふことがありますか。

4
た
い
へ
ん
3
少
し
2
あ
ま
り
1
ま
っ
た
く

今日の学習について、感想を自由に書いてください。

（自由意見）

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

このページは、ICTを活用した場合（活用した授業）で実施してください。

ICTを活用していない授業では実施しなくてもかまいません。

2. 電子黒板を使った授業について

先生が電子黒板を使って説明するのは、わかりやすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

自分や友だちが電子黒板を使って発表するのは、わかりやすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板を使った授業をもっと受けてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

他の教科でも、電子黒板を使った授業を受けてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

授業中に、自分が電子黒板を使って発表してみたいと思いますか。

-------	--	--	--

授業中に、友だちが電子黒板を使って発表するのを聞いてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

3. 電子黒板について

電子黒板の写真や絵、図などは、きれいで見やすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

電子黒板の写真や絵、図などは、大きくて見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板の画面は、広くて、見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板の画面は、明るくて、見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板にペンや手で文字や絵などを書くのは、書きやすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板にペンや手で書くのは、何度も書き直すことができ便利だと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板とふつうの黒板では、どちらを使ってほしいと思いますか。

下の3つの中から、1つに をつけてください。

() 電子黒板 () ふつうの黒板 () 両方 (電子黒板 + ふつうの黒板)

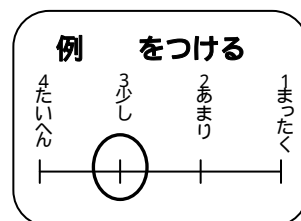
4. 電子黒板やコンピュータなどを使った授業について感想を自由に書いてください。

4. 社会用アンケート用紙（高学年・中学校用）

社会 アンケート調査 ○月○日

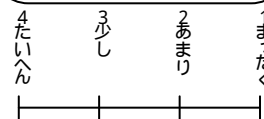
年 組 なまえ()

このアンケートは、みなさんが思ったことや感じたことを書いて、よりよい授業を考えるためのものです。テストではありませんので、思ったことや感じたことを素直に書いてください。

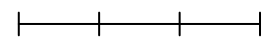


1. 今日の授業について

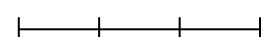
(1) 楽しく学習することができたと思いますか。



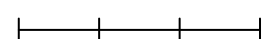
(2) 進んで参加することができたと思いますか。



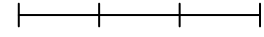
(3) 友だちと協力して参加することができたと思いますか。



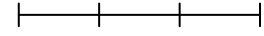
(4) 今日の学習は満足できたと思いますか。



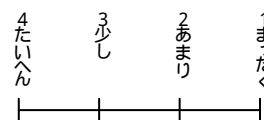
(5) 授業に集中して取り組むことができたと思いますか。



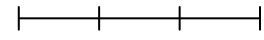
(6) 学習したことをもっと調べてみたいと思いますか。



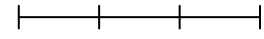
(7) 他の考えと比べて、同じ点や違う点を見つけることができたと思いますか。



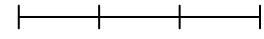
(8)じっくりと考えて、自分の考えを深めることができたと思いますか。



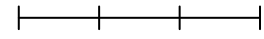
(9)自分で問題の解き方を考えることができたと思いますか。



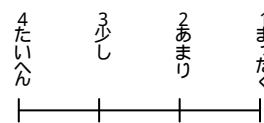
(10) [] について、くわしく調べることができたと思いますか。



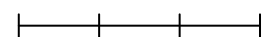
(11) [] について、工夫して調べることができたと思いますか。



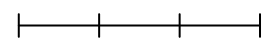
(12)調べたり考えたりしたことをわかりやすく伝えることができたと思いますか。



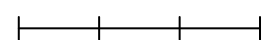
(13)学習したことを、ノートなどにわかりやすくまとめることができたと思いますか。



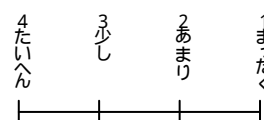
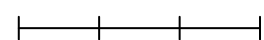
(14) [] について、目的に応じた方法で、資料を使って調べることができたと思いますか。



(15) [] について、いろいろな方法で調べることができたと思いますか。



(16) [] について、自分なりに工夫して表現できたと思いますか。



(17) 学習したことを覚えることができたと思いますか。

(18) 学習した内容を友だちや先生に正しく説明できると思いますか。

(19) [] について、その調べ方を理解することができたと思いますか。

(20) [] について、その工夫や努力を理解することができたと思いますか。

(21) [] について、その働き（仕組み）や役割を理解することができたと思いますか。

(22) 自分にあった方法やスピードで進めることができたと思いますか。

(23) 学習のめあてをしっかりとつかむことができたと思いますか。

(24) 学んだ内容をこれからの学習に役立つと思いますか。

(25) 学習したことは、これから自分でもできそうだなと思いますか。

(26) あなたは社会が好きだと思いますか。

(27) 社会の勉強は、得意な方だと思えることがありますか。

(28) 社会の勉強ができるようになりたいと思いますか。

(29) 社会の授業で、「勉強してよかったな」と思うことがありますか。

4
た
い
へ
ん
3
少
し
2
あ
ま
り
1
ま
っ
た
く

今日の学習について、感想を自由に書いてください。

（自由意見）

Four horizontal dashed lines for writing a free opinion.

このページは、ICTを活用した場合（活用した授業）で実施してください。

ICTを活用していない授業では実施しなくてもかまいません。

2. 電子黒板を使った授業について

先生が電子黒板を使って説明するのは、わかりやすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

自分や友だちが電子黒板を使って発表するのは、わかりやすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板を使った授業をもっと受けてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

他の教科でも、電子黒板を使った授業を受けてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

授業中に、自分が電子黒板を使って発表してみたいと思いますか。

-------	--	--	--

授業中に、友だちが電子黒板を使って発表するのを聞いてみたいと思いますか。

-------	--	--	--

3. 電子黒板について

電子黒板の写真や絵、図などは、きれいで見やすいと思いますか。

4 たいへん	3 少し	2 あまり	1 まったく

電子黒板の写真や絵、図などは、大きくて見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板の画面は、広くて、見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板の画面は、明るくて、見やすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板にペンや手で文字や絵などを書くのは、書きやすいと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板にペンや手で書くのは、何度も書き直すことができ便利だと思いますか。

-------	--	--	--

電子黒板とふつうの黒板では、どちらを使ってほしいと思いますか。

下の3つの中から、1つにをつけてください。

() 電子黒板 () ふつうの黒板 () 両方 (電子黒板 + ふつうの黒板)

4. 電子黒板やコンピュータなどを使った授業について感想を自由に書いてください。

資料3 小学校の実践授業の実施計画

1. 人吉市立中原小学校 (1)

校種・学年	小学校 (4)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第4学年1組 32名,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	溝口博史
教科名	国語
単元名・題材名	「アップとルーズで伝える」
単元・題材の目標	対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、 読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ。
実施期日	平成21年 10月15日(木) 第5校時
授業の概要	本単元は、基本的な映像の技法である「アップ」と「ルーズ」を通して考えさせていく説明文であり、「段落相互の関係を考えながら、中心的事柄を読み取ること」を学習のねらいとしている。 そこで、電子黒板を用い、教科書を拡大提示し、段落や文章を電子ペンで色分けして説明したり、書き込みをしたりすることで、段落構成を視覚的にとらえるとともに、接続語、指示語に着目し段落関係を理解できるようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	品名：国語デジタル教科書(光村図書出版) その他
担当者名	溝口博史

(2)

校種・学年	小学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 4 学年 2 組 3 4 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	田中ちひろ
教科名	国語
単元名・題材名	「カンジーはかせの音訓遊び歌」
単元・題材の目標	1 学期に学んだ「漢字の音と訓」を、リズムカルなカンジーはかせの歌や、自分で作った「音訓遊び歌カルタ」で遊ぶことで、その定着を図るとともに、活用についての意識をもち、送りがなに注意して漢字を読んだり書いたりして、カルタ遊びを楽しむ。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 6 日 (木) 第 2 校時
授業の概要	本単元は、1 学期に学んだ「漢字の音と訓」を、リズムカルなカンジーはかせの歌や、自分で作った「音訓遊び歌カルタ」で遊ぶことで、その定着を図ることを学習のねらいとしている。 そこで、本時では、電子黒板の「ホワイトボード」機能を使い、書き順を一画ずつ書き進む動画ファイルを作成し、書き順を確認することで、新出漢字の確実な定着を図る。 また、教科書を実物投影機で拡大し、電子黒板上で書き込みを行い、視覚的に提示することで、児童の理解促進を図る。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	自作コンテンツ (電子黒板の動画機能を活用) 品名 : その他
担当者名	溝口博史

(3)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 2 組 3 7 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	山下正晃
教科名	社会
単元名・題材名	「いま、どんな自動車が求められているの」
単元・題材の目標	日本の工業生産の様子に関心を持ち、自動車の開発と生産の様子、関連工業との関係、また、安全や福祉、環境を考えた自動車の開発、諸外国との関わりなどについて調べ、人々の求めに応じた開発が進められ、生活を支える役割を果たしていることを考える。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 3 日 (金) 第 5 校時
授業の概要	本単元では、自動車工業の生産過程や技術開発において、従事している人々の工夫や努力を理解することをねらいとしている。 そこで、本時では、電子黒板で自動車の組立工場の動画を視聴することで、組立工場での生産過程の様子や、組立工場で働く人々の工夫や努力を知ることができるようにする。 また、電子ペンで書き込みを行い、工場内の着目すべき点をおさえることで、生産過程の様子や、工場で働く人々の工夫や努力に児童が気付くようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名：新しい社会科デジタル掛図 5 年 (東京書籍) その他
担当者名	溝口博史

(4)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 2 8 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	岡部順升
教科名	社会
単元名・題材名	「戦争は人々の暮らしをどう変えたの」
単元・題材の目標	東京大空襲、沖縄地上戦、広島・長崎への原爆投下による被害の様子や終戦までの経過を調べ、長く続いた戦争により、多くの人々が犠牲になったことに気づくことができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 1 2 日 (木) 第 3 校時
授業の概要	本時では、東京大空襲、沖縄地上戦、広島・長崎への原爆投下による被害の様子や終戦までの経過を調べ、長く続いた戦争により、多くの人々が犠牲になったことに気づくことができることをねらいとしている。 そこで、電子黒板の大きく鮮明な画面で、当時の映像を拡大提示することで、東京大空襲、沖縄地上戦、広島・長崎への原爆投下による被害の様子について、児童の理解を深めるようにし、その後の各自での調べ活動へつなげるようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名：新しい社会科デジタル掛図 6 年 (東京書籍)
	その他
担当者名	溝口博史

(7)

校種・学年	小学校 (3)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第3学年1組 35名,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	池邊由利子
教科名	算数
単元名・題材名	「三角形と角」
単元・題材の目標	三角形をつくる活動を通して構成要素に着目し、二等辺三角形・正三角形の意味を知り、それらを作図したり敷き詰めたりして理解を深めることができる。
実施期日	平成21年 11月18日(水) 第2校時
授業の概要	本単元は、図形の性質を見いだしたり説明したりする過程で、数学的に考える力や表現する力を育てることをねらいとしている。 そこで、本時では電子黒板で図形を拡大提示し、電子ペンでの書き込みを行い、児童が図形の構成要素や性質について着目できるようにする。 また、児童の学習シートを拡大提示し、電子ペンで書き込みをしながら、自分の見出した図形について発表できるようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	身の回りにある敷き詰め画像(自作)
	品名: その他
担当者名	溝口博史

(8)

校種・学年	小学校 (4) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 4 学年 2 組 3 2 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	鶴田梨紗
教科名	算数
単元名・題材名	「 三角形を調べよう 」
単元・題材の目標	三角形をつくる活動を通して構成要素に着目し、二等辺三角形、正三角形の意味を知り、それらを作図したり敷き詰めたりして二等辺三角形、正三角形の理解を深めることができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 7 日 (火) 第 3 校時
授業の概要	本時では、二等辺三角形や正三角形を敷き詰めにて模様作りをし、模様の中 にいろいろな形を見つけることをねらいとしている。 そこで、三角形を敷き詰める過程を電子黒板にて拡大提示し、児童が敷き詰め のポイントに気付くようにする。 また、電子ペンでの書き込み機能を活用し、児童自身が操作できるようにし、 児童が見つけたいろいろな形を互いに発表することで、図形についての見方につ いての理解を深めることができるようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	身の回りにある敷き詰めの画像 (自作)
	品名 : その他
担当者名	溝口博史

(9)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 1 組 少人数教室 17 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	中野美穂
教科名	算数
単元名・題材名	「面積」
単元・題材の目標	三角形や平行四辺形の面積の公式を理解し、公式を使って面積をもとめることができる。また、四角形の面積を三角形分割の考えで求めることができる。
実施期日	平成 21 年 11 月 4 日 (水) 第 4 校時
授業の概要	本時では、工夫して三角形の面積の求め方を考えることができることをねらいとしている。 そこで、前時の学習シートを電子黒板で提示し、前時の学習を振り返ることで、本時の見通しにつなげるようにする。 また、学び合いの場面では、児童が自分の考えを図や式で書き込んだ学習シートを電子黒板で拡大提示し、児童自身が電子ペンでポイントを書き込みながら発表できるようにすることで、三角形の面積の求め方について、いろいろな求め方があることに気付くようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 [少人数指導]
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	わくわく算数「デンカケ 2」(啓林館) 品名 : その他
担当者名	溝口博史

(1 0)

校種・学年	小学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 1 組 3 5 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	大柿あゆみ
教科名	理科
単元名・題材名	「こん虫をさがそう」
単元・題材の目標	身の回りのいろいろな昆虫の体のつくりや育ち、昆虫と植物のかかわりについて、チョウで調べたことをもとに、比較しながら追究していくことができるようにするとともに、昆虫の体のつくりや育ちには、一定のきまりがあるという見方を養うようにする。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 7 日 (木) 第 3 校時
授業の概要	本単元では、昆虫の体のつくりは一定のきまりをもつことや、昆虫と植物との関係を、その食べ物・すみかなどと関連づけてみる見方や考え方をもちことをねらいとしている。 そこで、本時では、トンボやバッタなど昆虫の体のつくりについて、既習のチョウの体のつくりと比較するとともに、様々な昆虫の画像を電子黒板で拡大提示し、共通点や差異点を電子ペンで書き込み、その特徴に着目できるようにする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名 : デジタル掛図「 3 年生理科」 その他 図鑑「ナチュラこんちゅう」フレーベル館
担当者名	溝口博史

(1 3)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 2 組 2 8 名 ,
学校名	人吉市立中原小学校
授業者名	富永真理
教科名	外国語活動
単元名・題材名	「自分の一日を紹介しよう」
単元・題材の目標	世界には時差があることを知り、時間についての表現を用いて自分の一日を紹介したり、友達の日を聞き取ったりする。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 6 日 (水) 第 5 校時
授業の概要	本単元では、時刻を題材とし、自分の一日を紹介することで、友達とのコミュニケーションを楽しむことをねらいとしている。 そこで、本時では、電子黒板で英語ノートデジタル版を拡大提示し、電子ペンを使い、授業者だけでなく、児童同士で電子黒板上の英語ノートデジタル版を操作し、英単語や発音を確認したり、答え合わせをしたりといった活動ができるようにする。 そうした活動を行うことで、児童同士のかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動の充実を図る。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 書画カメラ ビデオカメラ 実物投影機 (OHC) プリンタ スキャナー デジタルカメラ CD-ROM DVD-ROM インターネット その他 [] スピーカー
活用した デジタルコンテンツ	品名：英語ノートデジタル版 (文部科学省) その他
担当者名	溝口博史

2. 人吉市立西瀬小学校

(1)

校種・学年	小学校 (4)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第4学年1組26名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	西 千夏
教科名	国語
単元名・題材名	アップとルーズで伝える
単元・題材の目標	対比・まとめなど、段落相互の關係に氣をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ。
実施期日	平成21年 10月29日(木) 第5校時
授業の概要	アップとルーズの画像について、それぞれの特徴が比較できるように、電子黒板を用い拡大し、児童に提示する。その際に、児童がアップとルーズの画像に電子ペンでの書き込み等を行うことで、それぞれの特徴に着目させる。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	教科書コンテンツ
	品名：国語デジタル教科書4年(光村図書出版)
	その他
担当者名	池田 幸彦

(2)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 1 組 2 4 名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	鎌田真奈美
教科名	国語
単元名・題材名	わらぐつの中の神様
単元・題材の目標	登場人物の人柄や場面の様子を叙述に即して読むことができる。 。現在 - 過去 - 現在という物語の構成とその効果について理解することができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 2 日 (月) 第 3 校時
授業の概要	デジタル教科書を活用して、導入時に朗読を聞かせることで、物語のイメージを深めたり、あらすじをとらえるための支援としたい。また、登場人物の気持ちがわかるところに電子黒板上で線を引くことで、登場人物のものの見方や考え方の変容を読み取らせる支援としたい。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	教科書コンテンツ
	品名 : 国語デジタル教科書 5 年 (光村図書出版)
	その他
担当者名	池田 幸彦

(4)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 2 組 2 2 名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	中岡 郁恵
教科名	社会
単元名・題材名	私たちの暮らしをささえる工業生産
単元・題材の目標	わが国の工業の特色に関心をもち、とくにさかんな工業の種類、主な輸出入品、工業の盛んな地域、工業技術などについて、地図や資料、ワークシートなどを活用して調べ、わが国の工業にはさまざまな特色が見られること、また、高い技術力をもっていることを考えることができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 1 4 日 (水) 第 4 校時
授業の概要	デジタル掛図を活用し、全国の地域別工業生産額のグラフを提示したり、日本の工業生産のグラフを提示したりしてその特色を確認する。また、日本の主な工業地帯や工業地域の分布の様子を全体で確認させる。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	教科書コンテンツ 品名：新しい社会デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	池田 幸彦

(5)

校種・学年	小学校 (5)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第5学年2組23名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	中岡 郁恵
教科名	社会
単元名・題材名	「わたしたちの暮らしと情報」～ニュースはどのようにとどけられるの～
単元・題材の目標	テレビ放送を事例に、ニュースを届ける放送局の活動に関心を持ち、放送局で働く人々の仕事、情報の収集、編集と放送、情報を伝える工夫などについて調べ、これらの産業は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを考えることができる。
実施期日	平成21年12月9日(水) 第4校時
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がこれまでに制作、編集してきた番組を放送する場面を設定し、番組作りについて理解を深める。 ・インターネット上のデジタル教材を視聴することでより理解を深める。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	NHK デジタル教材 5年社会 プレゼンテーション作成ソフト 品名： その他
担当者名	池田 幸彦

(6)

校種・学年	小学校 (6)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第6学年1組34名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	池田 幸彦
教科名	社会
単元名・題材名	黒船の来航は、世の中をどう変えたの
単元・題材の目標	黒船の来航をきっかけに開国した日本が、欧米の文化を取り入れ近代化を進める中で、憲法の制定や産業の発展したことについて理解と関心を深める。
実施期日	平成21年10月5日(月) 第3校時
授業の概要	デジタル掛図を活用し、ペリー来航の絵を提示して、そこから読み取れるものを見つけさせたり、ペリーの似顔絵を提示して、当時の人々の混乱・困惑に気づかせるようにしたい。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	教科書コンテンツ 品名：新しい社会デジタル掛図(東京書籍) その他
担当者名	池田 幸彦

(7)

校種・学年	小学校 (4)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第4学年2組25名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	池本 有美・大柿 勝彦
教科名	算数
単元名・題材名	面積
単元・題材の目標	面積の概念を理解し、面積の単位 cm^2 、 m^2 、 km^2 を知る。また、長方形や正方形の面積の公式を知り、それらを求めることができる。
実施期日	平成21年10月2日(金) 第5校時
授業の概要	長方形や正方形の求積公式を用いて、L字型の図形の面積を求める際に、その求め方をデジタルコンテンツで確認した。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	シュミレーションソフト
	品名：小学校算数シュミレーション(東京書籍)
	その他
担当者名	池田 幸彦

(1 0)

校種・学年	小学校 (4) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 4 学年 1 組 2 6 名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	米 育史
教科名	理科
単元名・題材名	ものの温度とかさ
単元・題材の目標	温度による空気のかさの変化を、見通しをもって追究することができるようにするとともに、水や金属のかさの変化を空気と比較しながらとらえることができるようにする。また、空気・水・金属は温度によって体積が変化するという見方や考え方を養うようにし、体積変化と温度変化とを関係づける能力や興味・関心をもって追究する態度を育てる。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 3 日 (木) 第 3 ・ 4 校時
授業の概要	事象提示装置については、児童が自分の考えを発表するときの補助機器として活用していきたい。 デジタルコンテンツを電子黒板で示しながら、実験等で得られた考察についての理解をさらに深めたい。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	「理科ねっとわーく」 教科書コンテンツ 品名：新しい理科デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	池田 幸彦

(1 1)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 2 組 2 2 名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	米 育史
教科名	理科
単元名・題材名	流れる水のはたらき
単元・題材の目標	川や地面を流れる水の様子を観察して、流れる水には地面を削ったり、石や土を運んだり積もらせたりするはたらきがあり、大雨などで水の速さや量が増えると、災害が起こることがあることをとらえるようにする。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 0 日 (木) 第 2 校時
授業の概要	事象提示装置については、児童が自分の考えを発表するときの補助機器として活用していきたい。 デジタルコンテンツを電子黒板で示しながら、モデル実験で得られた考察についての理解をさらに深めるようにする
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	「理科ねっとわーく」 教科書コンテンツ 品名：新しい理科デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	池田 幸彦

(1 4)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 3 名
学校名	人吉市立西瀬小学校
授業者名	池田 幸彦
教科名	外国語活動
単元名・題材名	道案内をしよう
単元・題材の目標	英語で道案内することに興味を持ち、積極的に道案内しようとしたり、建物の名前や道案内の表現に慣れ親しむ。
実施期日	平成 2 2 年 1 月 2 9 日 (金) 第 5 校時
授業の概要	本時に使用する英語ノートデジタル版の場면을拡大提示し、建物とそれぞれの英語での言い方を対応させたり、発音の反復練習をさせたりした。また、道案内ゲームの際には、電子黒板を活用して教員が説明し、実際のゲームを電子黒板で児童に発表してもらうようにした。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	英語ノートデジタル版 (文部科学省) 品名 : その他
担当者名	池田 幸彦

(2)

校種・学年	小学校 (4) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 4 学年 1 組 3 2 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	春田 潔
教科名	国語
単元名・題材名	知ろう・伝えよう ～見学の記録文を書こう～
単元・題材の目標	書くことを中心をはっきりさせて、まとめることができる。 相手にわかりやすくするための工夫をして、書くことができる。 事柄を収集したり、選択したりして文章を書くことができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 7 日 (火) 第 5 校時
授業の概要	児童が作成した構成表や記録文を提示し相互評価する指導場面において、 2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後にこれら構成表の書き方や記録文の書き方についてテストを 実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。 ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、容易にそれぞれの児童の文 章や表を全体で見ることができ、相互にその良さや改善点を認めながら話し 合いを行いやすくなり、理解が深まるだろうということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : その他 : Microsoft Powerpoint
担当者名	春田 潔

(3)

校種・学年	小学校 (4) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 4 学年 1 組 3 2 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	春田 潔
教科名	国語
単元名・題材名	言葉のきまり ~ 文と文との関係 ~
単元・題材の目標	接続語の働きを理解することができる。 接続語を適切に使うことができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 1 日 (金) 第 2 校時
授業の概要	例文を提示し接続語に続けて文章を書き込む指導場面において、2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、接続語に関するテストを実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、例文への書き込みを児童が操作しながら互いに見合うことで、理解が深まるだろうということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する CT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : デジタル教科書 (光村図書) その他
担当者名	春田 潔

(4)

校種・学年	小学校 (4) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 4 学年 3 組 3 2 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	田下 勉
教科名	国語
単元名・題材名	言葉のきまり ~ 文と文との関係 ~
単元・題材の目標	接続語の働きを理解することができる。 接続語を適切に使うことができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 8 日 (金) 第 3 校時
授業の概要	例文を提示し接続語に続けて文章を書き込む指導場面において、2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、接続語に関するテストを実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、例文への書き込みを児童が操作しながら互いに見合うことで、理解が深まるだろうということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : デジタル教科書 (光村図書) その他
担当者名	田下 勉

(5)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 2 組 3 4 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	小畑 晃一
教科名	社会
単元名・題材名	徳川家光と江戸幕府
単元・題材の目標	大名行列の様子の絵画や参勤交代の地図などの資料を読み取り、徳川家光の力や江戸幕府の政策について調べる意欲を持つ。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 1 日 (木) 第 3 校時
授業の概要	大名行列の様子の絵画や参勤交代の地図などの資料を用いて江戸幕府の政策について考えていく指導場面において、実験群 (6 年 2 組)、対照群 (6 年 1 組) に分け、ICT 有り、ICT 無しで授業を行う (2 時間)。授業後に指導内容に関する客観テストおよび意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) の活用によって、資料をより見やすく提示できること、気づいたことなどを書き込ませることが可能であるので、話し合いの内容や個々の考え方を整理し、江戸幕府の政策を調べていく活動の契機とする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名 : 6 年社会デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	小畑 晃一

(6)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	川内 政雄
教科名	社会
単元名・題材名	徳川家光と江戸幕府
単元・題材の目標	大名行列の様子の絵画や参勤交代の地図などの資料を読み取り、徳川家光の力や江戸幕府の政策について調べる意欲を持つ。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 7 日 (水) 第 3 校時
授業の概要	大名行列の様子の絵画や参勤交代の地図などの資料を用いて江戸幕府の政策について考えていく指導場面において、実験群 (6 年 2 組)、対照群 (6 年 1 組) に分け、ICT 有り、ICT 無しで授業を行う (2 時間)。授業後に指導内容に関する客観テストおよび意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) の活用によって、資料をより見やすく提示できること、気づいたことなどを書き込ませることが可能であるので、話し合いの内容や個々の考え方を整理し、江戸幕府の政策を調べていく活動の契機とする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 6 年社会デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	川内 政雄

(7)

校種・学年	小学校 (6)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第6学年2組34名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	小畑 晃一
教科名	社会
単元名・題材名	明治維新を作り上げた人々
単元・題材の目標	江戸時代末と明治初期の日本橋近くの様子をもとに、明治維新後の急激な変化の様子をまとめ、新しい世の中についての学習問題を作ることができる。
実施期日	平成21年 11月4日(木) 第3校時
授業の概要	江戸時代末と明治初期の日本橋近くの様子の絵図を比較させ、明治維新後の世の中の変化について考えていく指導場面において、実験群(6年2組)、対照群(6年1組)に分け、ICT有り、ICT無しで授業を行う(2時間)。授業後に指導内容に関する客観テストおよび意識調査(アンケート)も合わせて実施する。ICT(デジタルコンテンツ)の活用によって、資料をより見やすく提示できること、気づいたことなどを書き込ませることが可能であるので、話し合いの内容や個々の考え方を整理し、明治維新後の世の中の変化やその背景、人物の活躍について調べる活動の契機とする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	品名：東京書籍デジタル掛図(6年・社会) その他
担当者名	小畑 晃一

(8)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	川内 政雄
教科名	社会
単元名・題材名	明治維新を作り上げた人々
単元・題材の目標	江戸時代末と明治初期の日本橋近くの様子をもとに、明治維新後の急激な変化の様子をまとめ、新しい世の中についての学習問題を作ることができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 2 4 日 (火) 第 3 校時
授業の概要	江戸時代末と明治初期の日本橋近くの様子の絵図を比較させ、明治維新後の世の中の変化について考えていく指導場面において、実験群 (6 年 2 組)、対照群 (6 年 1 組) に分け、ICT 有り、ICT 無しで授業を行う (2 時間)。授業後に指導内容に関する客観テストおよび意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) の活用によって、資料をより見やすく提示できること、気づいたことなどを書き込ませることが可能であるので、話し合いの内容や個々の考え方を整理し、明治維新後の世の中の変化やその背景、人物の活躍について調べる活動の契機とする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 東京書籍デジタル掛図 (6 年・社会) その他
担当者名	川内 政雄

(9)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 2 組 3 4 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	小畑 晃一
教科名	社会
単元名・題材名	新しい日本、平和な日本へ
単元・題材の目標	学徒出陣と東京オリンピック開会式の写真や、地域の方への聞き取りから、戦後の日本の発展に関心を持ち、学習問題をつかむ。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 0 日 (木) 第 3 校時
授業の概要	学徒出陣の様子の写真と東京オリンピック開会式の写真を比較させ、戦後の日本の発展について考えていく指導場面において、実験群(6 年 2 組)、対照群(6 年 1 組)に分け、ICT 有り、ICT 無しで授業を行う(2 時間)。授業後に指導内容に関する客観テストおよび意識調査(アンケート)も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) の活用によって、資料をより見やすく提示できること、気づいたことなどを書き込ませることが可能であるので、話し合いの内容や個々の考え方を整理し、戦後の日本の発展に関心を持たせるとともに、具体的な変化の様子について調べる活動の契機とする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名 : 東京書籍デジタル掛図 (6 年 ・ 社会) その他
担当者名	小畑 晃一

(1 0)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	川内 政雄
教科名	社会
単元名・題材名	新しい日本、平和な日本へ
単元・題材の目標	学徒出陣と東京オリンピック開会式の写真や、地域の方への聞き取りから、戦後の日本の発展に関心を持ち、学習問題をつかむ。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 8 日 (金) 第 3 校時
授業の概要	学徒出陣の様子の写真と東京オリンピック開会式の写真を比較させ、戦後の日本の発展について考えていく指導場面において、実験群(6 年 2 組)、対照群(6 年 1 組)に分け、ICT 有り、ICT 無しで授業を行う(2 時間)。授業後に指導内容に関する客観テストおよび意識調査(アンケート)も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) の活用によって、資料をより見やすく提示できること、気づいたことなどを書き込ませることが可能であるので、話し合いの内容や個々の考え方を整理し、戦後の日本の発展に関心を持たせるとともに、具体的な変化の様子について調べる活動の契機とする。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名 : 東京書籍デジタル掛図 (6 年 ・ 社会)
	その他
担当者名	川内 政雄

(1 1)

校種・学年	小学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 1 組 2 6 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	江山 綾子
教科名	算数
単元名・題材名	形をつくろう
単元・題材の目標	具体物の観察や、色板、数え棒、作図による形の構成などの操作を通して、平面図形に親しみ、その理解の基礎となる経験を豊かにする。 平面に親しみながら、基本的な理解を深める。基本図形を構成する活動を通して、基礎的な理解を深める。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 1 日 (木) 第 2 校時
授業の概要	直角二等辺三角形の色板を使って、いろいろな形を構成する指導場面において、2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、形を構成している色板の数に関するテストを実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、直角三角形の色板を組み合わせることにより、基本的な図形 (三角形、正方形、長方形) が構成できることが容易にイメージでき、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代り その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : みんなでさんすう Ver.3 (東京書籍) デジタル算数セット (教育出版) さんすうランチ 5 (ベネッセコーポレーション) その他
担当者名	江山 綾子

(1 2)

校種・学年	小学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 2 組 2 7 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	宮崎 愛
教科名	算数
単元名・題材名	形をつくろう
単元・題材の目標	具体物の観察や、色板、数え棒、作図による形の構成などの操作を通して、平面図形に親しみ、その理解の基礎となる経験を豊かにする。 平面に親しみながら、基本的な理解を深める。基本図形を構成する活動を通して、基礎的な理解を深める。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 日 (金) 第 3 校時
授業の概要	直角二等辺三角形の色板を使って、いろいろな形を構成する指導場面において、2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、形を構成している色板の数に関する C テストを実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。IC (デジタルコンテンツ) を活用することにより、直角三角形の色板を組み合わせることにより、基本的な図形 (三角形、正方形、長方形) が構成できることが容易にイメージでき、確実な理解につながることを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : みんなでさんすう Ver.3 (東京書籍) デジタル算数セット (教育出版) さんすうランチ 5 (ベネッセコーポレーション) その他
担当者名	宮崎 愛

(1 3)

校種・学年	小学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 1 組 2 6 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	江山 綾子
教科名	算数
単元名・題材名	かけ算 (1)
単元・題材の目標	乗法の意味について理解し、それを用いることができる。 「1つ分の大きさ」「いくつ分」をとらえられるようになる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 0 日 (火) 第 2 校時
授業の概要	遊園地の入り口付近で整列した人とバラバラの人の数を数えたり、遊園地のいろいろな乗り物に乗っている人数を調べたりする指導場面において、2クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、「一つ分の大きさ」が「いくつ分」に関するテストを実施する。また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、何を「1つ分の大きさ」とするのか、その数量が「いくつ分」あるのか、「全体の数量」はどれだけにあたるのかが容易にイメージでき、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : みんなでさんすう Ver.3 (東京書籍) デジタル算数セット (教育出版) さんすうランチ 5 (ベネッセコーポレーション) その他
担当者名	江山 綾子

(1 4)

校種・学年	小学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 2 組 2 7 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	宮崎 愛
教科名	算数
単元名・題材名	かけ算 (1)
単元・題材の目標	乗法の意味について理解し、それを用いることができる。 「1つ分の大きさ」「いくつ分」をとらえられるようになる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 7 日 (火) 第 3 校時
授業の概要	遊園地の入り口付近で整列した人とバラバラの人の数を数えたり、遊園地のいろいろな乗り物に乗っている人数を調べたりする指導場面において、2クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、「一つ分の大きさ」が「いくつ分」に関するテストを実施する。また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、何を「1つ分の大きさ」とするのか、その数量が「いくつ分」あるのか、「全体の数量」はどれだけにあたるのかが容易にイメージでき、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : みんなでさんすう Ver.3 (東京書籍) デジタル算数セット (教育出版) さんすうランチ 5 (ベネッセコーポレーション) その他
担当者名	宮崎 愛

(1 5)

校種・学年	小学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 2 組 2 7 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	宮崎 愛
教科名	算数
単元名・題材名	かけ算 (2)
単元・題材の目標	かけ算の意味について理解し、それを用いることができる。 乗法九九を総合的に活用して、問題を解決することを通して、九九の理解を深める。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 7 日 (月) 第 4 校時
授業の概要	乗法九九を総合的に活用して、ものの数を求める指導場面において、2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、乗法九九を活用して、ものの数を求めるテストを実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、「まとまりの数」と「いくつ分」に着目し、乗法九九を効果的に活用することで、ものの数を求めることができることを容易にイメージでき、確実な理解につながることを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名：みんなでさんすう Ver.3 (東京書籍) デジタル算数セット (教育出版) さんすうランチ 5 (ベネッセコーポレーション) その他
担当者名	宮崎 愛

(1 6)

校種・学年	小学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 1 組 2 6 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	江山 綾子
教科名	算数
単元名・題材名	かけ算 (2)
単元・題材の目標	かけ算の意味について理解し、それを用いることができる。 乗法九九を総合的に活用して、問題を解決することを通して、九九の理解を深める。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 8 日 (火) 第 2 校時
授業の概要	乗法九九を総合的に活用して、ものの数を求める指導場面において、2 クラスを A 群と B 群に分け、ICT 有り・ICT 無しで授業を行う。 授業前後に、乗法九九を活用して、ものの数を求めるテストを実施する、また、授業後には、意識調査 (アンケート) も合わせて実施する。ICT (デジタルコンテンツ) を活用することにより、「まとまりの数」と「いくつ分」に着目し、乗法九九を効果的に活用することで、ものの数を求めることができることを容易にイメージでき、確実な理解につながることを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名：みんなでさんすう Ver.3 (東京書籍) デジタル算数セット (教育出版) さんすうランチ 5 (ベネッセコーポレーション) その他
担当者名	江山 綾子

(17)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 2 組 2 8 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	松尾 宏輔
教科名	理科
単元名・題材名	台風と天気の変化
単元・題材の目標	台風による強風や大雨と、それがもたらす災害に興味をもち、台風の進路と天気の変化について、様々な情報や資料などを活用して調べ、台風は通常の天気の変化とは異なる特有の動きをすることをとらえることができるようにする。
実施期日	平成 2 1 年 9 月 2 4 日 (木) 第 2 校時
授業の概要	台風の進路と天気の変化を指導する場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に台風の進路と天気の変化のテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を使って台風の移動のようすとそれに伴う天気の変化をイメージさせることが、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	Web コンテンツ URL: http://www.rikanet.jst.go.jp/contents/cp0130b/guide/auto/topfl.html 品名 : 5 年理科デジタル掛図 (東京書籍) ひまわり View Ver.3 (東京書籍) その他
担当者名	松尾 宏輔

(1 8)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 1 組 2 8 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	松尾 宏輔
教科名	理科
単元名・題材名	台風と天気の変化
単元・題材の目標	台風による強風や大雨と、それがもたらす災害に興味をもち、台風の進路と天気の変化について、様々な情報や資料などを活用して調べ、台風は通常の天気の変化とは異なる特有の動きをすることをとらえることができるようにする。
実施期日	平成 2 1 年 9 月 2 4 日 (木) 第 4 校時
授業の概要	台風の進路と天気の変化を指導する場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に台風の進路と天気の変化のテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を使って台風の移動のようすとそれに伴う天気の変化をイメージさせることが、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	Web コンテンツ URL: http://www.rikanet.jst.go.jp/contents/cp0130b/guide/auto/topfl.html 品名 : 5 年理科デジタル掛図 (東京書籍) ひまわり View Ver.3 (東京書籍) その他
担当者名	松尾 宏輔

(1 9)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 1 組 2 8 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	松尾 宏輔
教科名	理科
単元名・題材名	おもりのはたらき
単元・題材の目標	ふりこの簡易実験を行い「ふりこの 1 往復する時間は、どうすると変えることができるか」を条件を制御しながら定量的に調べることができるようにする。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 2 5 日 (水) 第 2 校時
授業の概要	「ふりこの 1 往復する時間をどうすると変えることができるか」を調べる場面において、1 クラスには、ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に、ふりこの 1 往復する時間を变化させる条件に関するテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を使って実験データをグラフ化することと、学習のまとめをすることが確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	Web コンテンツ URL: http://www.rikanet.jst.go.jp/contents/cp0370c/start.html# 品名: 5 年理科デジタル掛図 (東京書籍) その他 Microsoft Excel
担当者名	松尾 宏輔

(2 0)

校種・学年	小学校 (5) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 5 学年 2 組 2 8 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	松尾 宏輔
教科名	理科
単元名・題材名	おもりのはたらき
単元・題材の目標	ふりこの簡易実験を行い「ふりこの 1 往復する時間は、どうすると変えることができるか」を条件を制御しながら定量的に調べることができるようにする。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 2 日 (水) 第 2 校時
授業の概要	「ふりこの 1 往復する時間をどうすると変えることができるか」を調べる場面において、1 クラスには、ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に、ふりこの 1 往復する時間を变化させる条件に関するテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を使って実験データをグラフ化することと、学習のまとめをすることが確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	Web コンテンツ URL: http://www.rikanet.jst.go.jp/contents/cp0370c/start.html# 品名 : 5 年理科デジタル掛図 (東京書籍) その他 Microsoft Excel
担当者名	松尾 宏輔

(2 1)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名, 児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	松尾 宏輔
教科名	理科
単元名・題材名	大地のつくりと変化
単元・題材の目標	大地の構成物やできかたについて資料で学習したことをもとに地層を観察し, そこが, 水のはたらきでできた地層か, 火山のはたらきでできた地層かを推論できるようにする。また, 大地は, 地震や火山の噴火などによって変化することをとらえることができるようにする。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 3 0 日 (金) 第 2 校時
授業の概要	地層のできかたとその構成物を指導する場面において, 1 クラスには ICT 有り, もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に地層のできかたとその構成物のテストを実施する。また, 意識調査も合わせて実施する。ICT を使って地層のできかたと構成物のようすをイメージさせることが, 確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	Web コンテンツ URL: http://www.rikanet.jst.go.jp/contents/cp0350/contents/top/topmenu/_t.html 品名: 6 年理科デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	松尾 宏輔

(2 3)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 3 組 3 4 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	高柳 智恵
教科名	外国語活動
単元名・題材名	道案内をしよう
単元・題材の目標	英語で道案内することに興味を持ち、建物の名前や道案内の表現に慣れ親しみ積極的に道案内をしようとする。
実施期日	平成 2 1 年 9 月 2 9 日 (火) 第 3 校時
授業の概要	方向や動きを指示する表現を聞く場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に指導内容に関するテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を活用することにより、方向や動きを指示する表現がより分かりやすくなり、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 英語ノートデジタル版 (文部科学省) フラッシュ型教材 (チエル) その他
担当者名	高柳 智恵

(2 4)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	川内 政雄
教科名	外国語活動
単元名・題材名	道案内をしよう
単元・題材の目標	英語で道案内することに興味を持ち、建物の名前や道案内の表現に慣れ親しみ積極的に道案内をしようとする。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 5 日 (月) 第 5 校時
授業の概要	方向や動きを指示する表現を聞く場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に指導内容に関するテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を活用することにより、方向や動きを指示する表現がより分かりやすくなり、確実な理解につながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 英語ノートデジタル版 (文部科学省) フラッシュ型教材 (チエル) その他
担当者名	川内 政雄

(2 5)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 3 組 3 4 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	高柳 智恵
教科名	外国語活動
単元名・題材名	行ってみたい国を紹介しよう
単元・題材の目標	世界にはいろいろな英語が話されていることに興味を持ち、自分が行ってみたい国について理由を交えながら、スピーチしたり、積極的に友達のスピーチを聞いたりしようとする。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 3 0 日 (金) 第 3 校時
授業の概要	英語ノートデジタル版に取り上げられている国のよさを知り、自分がどの国に行きたいか考える場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に指導内容に関するテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を活用することにより、それぞれの国のよさがより具体的になり、次時の学習内容の意欲を高めることにつながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 英語ノートデジタル版 (文部科学省) フラッシュ型教材 (チエル) その他
担当者名	高柳 智恵

(2 6)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	川内 政雄
教科名	外国語活動
単元名・題材名	行ってみたい国を紹介しよう
単元・題材の目標	世界にはいろいろな英語が話されていることに興味を持ち、自分が行ってみたい国について理由を交えながら、スピーチしたり、積極的に友達のスピーチを聞いたりしようとする。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 2 5 日 (水) 第 3 校時
授業の概要	英語ノートデジタル版に取り上げられている国のよさを知り、自分がどの国に行きたいか考える場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に指導内容に関するテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を活用することにより、それぞれの国のよさがより具体的になり、次時の学習内容の意欲を高めることにつながるということを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 英語ノートデジタル版 (文部科学省) フラッシュ型教材 (チエル) その他
担当者名	川内 政雄

(2 7)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 3 組 3 4 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	高柳 智恵
教科名	外国語活動
単元名・題材名	オリジナルの劇をつくろう
単元・題材の目標	世界の物語に興味を持ち、まとまった英語の話の聞き内容を理解したり、英語を積極的に使ってオリジナルの劇をつくり演じようとする。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 5 日 (火) 第 3 校時
授業の概要	教材として取り上げられている物語を英語で聞き取る場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に指導内容についてテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を活用することにより、内容を想像しながらまとまった英語を聞く機会となり、確実な理解につながることを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	W e b コンテンツ
	品名 : 英語ノートデジタル版 (文部科学省) フラッシュ型教材 (チエル)
	その他
担当者名	高柳 智恵

(2 8)

校種・学年	小学校 (6) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 6 学年 1 組 3 5 名
学校名	大村市立大村小学校
授業者名	川内 政雄
教科名	外国語活動
単元名・題材名	オリジナルの劇をつくろう
単元・題材の目標	世界の物語に興味を持ち、まとまった英語の話を読み内容を理解したり、英語を積極的に使ってオリジナルの劇をつくり演じようとする。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 2 2 日 (火) 第 2 校時
授業の概要	教材として取り上げられている物語を英語で聞き取る場面において、1 クラスには ICT 有り、もう 1 クラスには ICT 無しで授業を行う。授業後に指導内容についてテストを実施する。また、意識調査も合わせて実施する。ICT を活用することにより、内容を想像しながらまとまった英語を聞く機会となり、確実な理解につながることを示す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	W e b コンテンツ
	品名 : 英語ノートデジタル版 (文部科学省) フラッシュ型教材 (チエル)
	その他
担当者名	川内 政雄

資料4. 中学校の実践授業の実施計画

1. 人吉市立第一中学校 (1)

校種・学年	中学校 (2)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第2学年1組37名,
学校名	人吉市立第一中学校
授業者名	斉藤 好徳
教科名	国語
単元名・題材名	[古典に親しむ] 扇の的 「平家物語」から
単元・題材の目標	昔の人のものの見方や考え方にふれ、古典に親しむ。
実施期日	平成21年 10月23日(金) 第4校時 月 日() 第 校時
授業の概要	歴史的仮名遣いを確認し、正しい音読につなげていくことが大きなねらいである。本時は、電子黒板にデジタル教科書の本文を表示させ、文の中にどのような歴史的仮名遣いが含まれているかについて、本文中に電子ペンで生徒の気づきを書き込ませ全体で確認する。また、デジタル教科書の範読を聞くことで歴史的仮名遣いの読み方を確認し、自分の音読に生かす。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	品名: デジタル教科書2年生古典(光村図書) その他
担当者名	橋爪 亮彦

(2)

校種・学年	中学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 1 組 3 6 名 ,
学校名	人吉市立第一中学校
授業者名	斉藤 好徳
教科名	国語
単元名・題材名	[古典に親しむ] 漢詩の風景
単元・題材の目標	昔の人のものの見方や考え方にふれ、古典に親しむ。
実施期日	平成 2 2 年 1 月 1 4 日 (金) 第 2 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	授業の導入で、デジタル教科書の朗読機能を用い、漢詩の中国語読みを聞かせ生徒の関心を引き出す。また、訓読点を確認する場面では、電子黒板に本文を大きく映し出し、生徒に書き込ませることで全体での理解を図る。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : デジタル教科書 2 年生古典 (光村図書) その他
担当者名	橋爪 亮彦

(3)

校種・学年	中学校 (1) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 1 学年 4 組 3 4 名 ,
学校名	人吉市立第一中学校
授業者名	田村 誠志
教科名	社会
単元名・題材名	地域の歴史を調べよう
単元・題材の目標	武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解する。 農業など諸産業の発達、新たな仏教の動きなどを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 1 8 日 (水) 第 5 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	「日本史」と身近な地域の歴史を重ね併せ、歴史が過去から今の自分に繋がるものであることを実感的に捉えさせ、興味・関心を高めることがねらいである。 そこで、鎌倉時代の人吉球磨地方における相良氏の入部とその支配体制の形成過程について、自作のプレゼンテーション資料を電子黒板上に提示するほか、実物教材・身近な歴史素材等を効果的に用いて、学習内容の具体化を目指す。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	自作プレゼンテーション 品名 : その他
担当者名	橋爪 亮彦

(7)

校種・学年	中学校 (1)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第1学年2組34名,
学校名	人吉市立第一中学校
授業者名	橋爪亮彦
教科名	理科
単元名・題材名	力と圧力
単元・題材の目標	物体に力を働かせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり動きはじめたり、運動の様子が変わったりすることを見出すとともに、力は大きさと向きによって表わされることを知ること。
実施期日	平成21年 11月6日(金) 第1校時 月 日() 第 校時
授業の概要	ばねののびについての測定結果を、電子黒板上に用意したグラフにプロットしていく活動を取り入れる。各班の測定結果を同じシートにプロットすることで、各班の測定値がある範囲に収束してくることを視覚的に捉えさせ、測定結果には誤差があること、その誤差を踏まえて規則性を探る方法を理解させる。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	ホワイトボード機能に自作のグラフ用紙を提示させて使用 品名: その他
担当者名	橋爪亮彦

(8)

校種・学年	中学校 (1) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 1 学年 3 組 3 4 名 ,
学校名	人吉市立第一中学校
授業者名	橋口りか
教科名	外国語
単元名・題材名	わたしの自己紹介 Speaking Plus1 「忘れ物」
単元・題材の目標	一般動詞、副詞句、前置詞句を使い、自己紹介文を書き発表することができる。話しかける、聞き返す、お礼を言う表現を学び、使うことができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 1 1 日 (水) 第 1 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	「わたしの自己紹介」では、モデル文を参考に書いた自己紹介文を、電子黒板上に電子ペンで書き込み、全体で共有することで、各自の表現力をひろげられるようにする。 「忘れ物」では、対話文の基本表現を学習していく際に、デジタル教科書の対話文練習コンテンツを用い、様々な形態での口頭練習を通して、習得を図る。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 [ペア]
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 プロジェクタ 電子情報ボード コンピュータ 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	ホワイトボード機能 品名 : NEW HORIZON デジタル教科書 1 (東京書籍) その他
担当者名	橋爪 亮彦

(9)

校種・学年	中学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 4 組 3 6 名 ,
学校名	人吉市立第一中学校
授業者名	太田 篤士
教科名	外国語
単元名・題材名	Unit 4 Homestay in the United States
単元・題材の目標	have to、will、 must といった助動詞類の用法を理解し、実際に表現することができる。また、それらを含む英文を読んで理解することができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 1 月 1 0 日 (火) 第 3 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	本文の新出単語等導入の際に、デジタル教科書を用いて、説明を加えながら発音練習をさせる。また、本文の音読でも視覚的に目で追いながら音読できるように「カラオケ」機能を使用し、音読活動に取り組む。また、本文の内容理解の際にも、ポイントを視覚的に示し、重要事項や話の流れがつかみやすいように指導する。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 [ペア]
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : NEW HORIZON デジタル教科書 (東京書籍) その他
担当者名	橋爪亮彦

2. 人吉市立第三中学校
(1)

校種・学年	人吉市立第三中学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第2 学年 1 組 11 名,
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	長友 理加
教科名	国語
単元名・題材名	4 古典に親しむ 「仁和寺にある法師～徒然草～」
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名序の原文の音読を通して、言葉やリズムに親しみ、和歌へと関心を広げる。 ・和歌の本質を植物にたとえていることを理解し、昔の人がとらえている和歌の持つ力について読みとる。 ・音読しながら、助詞がない表現や係り結び、対句などの古文の表現に気づく。
実施期日	平成21年 12月8日(火) 第3校時 月 日() 第 校時
授業の概要	「徒然草」の原文を繰り返し音読し、古文に読み慣れさせ、登場人物の人物像について、また、この人物の言動に関する思いについて考える授業である。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔映像による説明〕
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	品名:「光村 国語デジタル教科書」古典 2年 その他
担当者名	橋本 勝彦

(2)

校種・学年	中学校 (3) 年															
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 1 組 1 3 名 ,															
学校名	人吉市立第三中学校															
授業者名	長友 理加															
教科名	国語															
単元名・題材名	古典を楽しむ 「古今和歌集 仮名序」															
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮名序の原文の音読を通して、言葉やリズムに親しみ、和歌へと関心を広げる。 ・ 和歌の本質を植物にたとえていることを理解し、昔の人がとらえている和歌の持つ力について読みとる。 ・ 音読しながら、助詞がない表現や係り結び、対句などの古文の表現に気づく。 ・ 古文独特の言葉遣いやリズムにふれ、音読しようとする。 															
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 0 日 (火) 第 1 校時 月 日 () 第 校時															
授業の概要	「古今和歌集」の「仮名序」の原文を繰り返し音読し、古文に読み慣れさせ、歴史的仮名遣いや古語の意味を理解し、仮名序の内容を理解し、和歌の持つ力を考える授業である。															
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []															
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []															
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []															
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []															
ICT を活用する目的	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">課題の提示</td> <td style="width: 33%;">動機付け</td> <td style="width: 33%;">教員の説明資料</td> </tr> <tr> <td>学習者の説明資料</td> <td>繰り返しによる定着</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モデルの提示</td> <td>失敗例の提示</td> <td>体験の想起</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>振り返り</td> <td>体験の代行</td> </tr> <tr> <td>その他 []</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	課題の提示	動機付け	教員の説明資料	学習者の説明資料	繰り返しによる定着		モデルの提示	失敗例の提示	体験の想起	比較	振り返り	体験の代行	その他 []		
課題の提示	動機付け	教員の説明資料														
学習者の説明資料	繰り返しによる定着															
モデルの提示	失敗例の提示	体験の想起														
比較	振り返り	体験の代行														
その他 []																
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []															
活用コンテンツ	品名 : 「光村 国語デジタル教科書」古典 2 年 その他															
担当者名	橋本 勝彦															

(3)

校種・学年	中学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 1 組 1 1 名
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	村上 武史
教科名	社会
単元名・題材名	さまざまな面から見た日本
単元・題材の目標	日本の自然環境について、世界的視点から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特色をとらえる活動を通して、我が国の国土の特色を自然環境の面から大観させる。地形や気候が人々の生活や生産活動と関わっていることを学ぶことを通して、自然環境の基本的要素として地形と気候を取り上げる意味を理解させる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 1 日 (木) 第 3 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	日本は環太平洋造山帯に属し、地震や火山の多い不安定な大地上に位置している。日本列島の大部分は温帯に属し、降水量が多く、その姿は列島を背骨のように山地が走り、大量の雨を集めて河川を形成しながら、下流部には規模の小さな平野部が点在している。日本の河川は、世界の河川と比較しても流れが短く、急で流域面積が狭いという特色がある。その特色から、河川が土砂を運び、山間部から平地に出た付近では扇状地を平野の河口付近では三角州を形成している個所も見られ、その日本の概要をつかむ。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 「デジタル掛図 地理」(東京書籍) その他
担当者名	橋本勝彦

(4)

校種・学年	中学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 1 組 1 3 名 ,
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	村上 武史
教科名	社会
単元名・題材名	わたしたちの暮らしと経済
単元・題材の目標	経済活動の意義や生産・流通・消費といった経済の大まかなしくみを、身近な消費生活を通して理解させる。 身近で具体的な事例を取り上げたり、調査や作業、シミュレーションといった様々な課題学習を行ったりする中で、経済への興味・関心を高めさせ、経済活動における選択について考えさせる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 2 8 日 (木) 第 1 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	牛井屋を経営のシミュレーションをすることによって、経済への興味関心を高める活動である。特に、牛井一杯分の値段を設定させたり、従業員の数を設定させ、理由を考えさせることで、経済活動における選択について考えさせる。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 「カラテカのよくわかる生活と経済」 財団法人 日本経済教育センター その他
担当者名	橋本勝彦

(7)

校種・学年	中学校 (1)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第1学年1組14名,
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	椎葉勇二
教科名	理科
単元名・題材名	音の性質
単元・題材の目標	音源の振動と音の大きさ、高さの関係を調べることができ、その関係を見いだすことができる。
実施期日	平成21年 9月10日(木) 第4校時 月 日() 第校時
授業の概要	音の特徴として、音の大小・音の高低・音色があることの確認 音源の振動が並となって伝わることの確認 音の大小・音の高低は何か原因しているのか予想 波形の観察から、音の大小・高低について考える。 観察から分かったことの生徒発表 振幅、振動数の語句の確認 音の大小・高低を振幅・振動数の語句を使って表現 まとめ
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	品名：振駆郎(フリーソフト) その他
担当者名	橋本勝彦

(8)

校種・学年	中学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 1 組 1 3 名 ,
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	椎葉勇二
教科名	理科
単元名・題材名	地球と宇宙
単元・題材の目標	金星の位置によって、満ち欠けや大きさが変化して見えることを調べることができ、その関係を見いだすことができる。
実施期日	平成 2 1 年 1 2 月 1 4 日 (月) 第 4 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	太陽系の惑星の位置関係と動きについて確認 金星が自ら光を出さないことの確認 金星の位置と見え方の変化を予想 金星の位置と見え方の変化を、ピンポン球を使って観察し、考える。 観察から分かったことの生徒発表 金星の満ち欠けや見える大きさの変化の確認 金星の見える時期と方角、明けの明星・よいの明星の語句の確認 まとめ
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名 : 地球と宇宙 (ベネッセ)
	その他
担当者名	橋本勝彦

(9)

校種・学年	中学校 (1) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 1 学年 1 組 1 3 名 ,
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	中園千秋
教科名	外国語
単元名・題材名	Unit7 Prt4 「カナダの学校」
単元・題材の目標	カナダの中学生の学校生活(登校ようびや授業時間等) について知る。 学校生活や所有物についてたずねたり、それに答えたりすることができる。
実施期日	平成 2 2 年 1 月 2 2 日 (金) 第 5 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	本文の導入時のモデルリーディングを聴く フラッシュカードをみながら、新出単語の発音練習 本文の音読練習 音読の速さを調節しながらの音読練習 本文内容に関する Q & A まとめ
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	
	品名 : NEW HORIZON ENGLISH COURSE1 (東京書籍)
	その他
担当者名	橋本勝彦

(1 0)

校種・学年	中学校 (1) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 1 学年 1 組 1 3 名 ,
学校名	人吉市立第三中学校
授業者名	中園千秋
教科名	外国語
単元名・題材名	Unit8 Part1 「はじめてのカナダ旅行」
単元・題材の目標	ものがどこにあるかたずねたり、それに答えたりすることができる。
実施期日	平成 2 2 年 1 月 2 7 日 (水) 第 3 校時 月 日 () 第 校時
授業の概要	既習内容の復習 本文のモデルリーディングを聴く。 新出単語の発音練習 本文の音読練習 基本練習の口頭練習 まとめ
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : NEW HORIZON ENGLISH COURSE1 (東京書籍) その他
担当者名	橋本勝彦

(2)

校種・学年	中学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 3 組 3 8 名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	長屋里江子
教科名	国語
単元名・題材名	古典を楽しむ 夏草 - 「おくのほそ道」から -
単元・題材の目標	「おくのほそ道」は、いっさいのものが流れ流れていくところに人生があり、人は旅の中に生きているという芭蕉の思想がつづられている。格調高い文体でつづられた、その味わいを音読によって実感し、芭蕉のもの見方・感じ方に触れ、古典を楽しむことをねらいとしている。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 9 日 (金) 第 3 校時
授業の概要	「おくのほそ道」は、格調高い文体でつづられた松尾芭蕉の代表作であり、その味わいを音読によって実感し、芭蕉のもの見方・感じ方に触れ、古典を楽しむことをねらいとしている。そこで、電子黒板で、芭蕉がたどった道筋を地図や映像資料で示し、芭蕉が見たであろう風景について具体的にイメージを持たせる。また、本文を拡大提示し、範読を聞かせるとともに、電子ペンで範読している部分を示すことにより、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの読みの違いに気づかせる。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : 国語デジタル教科書古典編 (光村図書) その他
担当者名	横山隆光

(3)

校種・学年	中学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 5 組 37 名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	大久保佳郎
教科名	社会
単元名・題材名	世界と日本の自然環境
単元・題材の目標	日本は温帯の山国で降水量が多く、森林面積の多い国であるといった日本の自然環境の特色を理解することができる。また、地形や気候においては、地域差が見られることに気づくことができる。
実施期日	平成 21 年 11 月 30 日 (金) 第 3 校時
授業の概要	本単元では資料をもとに世界各地の気候などの比較を行い、日本の自然環境について学習する。本時は、導入で世界の各気候帯の植生などの自然環境の写真を提示し、電子ペンを使って書き込み、気候帯による自然環境の違いに疑問を持たせる。全体交流では、生徒が電子ペンを使って雨温図に年間雨量や年間気温の特徴を書き込みながら、気温や雨量と自然環境の関係について、自分の考えを発表する。全体交流から年間雨量や年間気温の変化が示す気候条件とそこに生育する動植物の関係を考えて、各気候帯の特徴を理解する。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	品名 : デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	横山隆光

(4)

校種・学年	中学校 (3)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第3学年 7組 37名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	林 宏昌
教科名	社会
単元名・題材名	わたしたちの暮らしと経済
単元・題材の目標	生産・流通・消費の経済活動を知ることを通して、資本主義経済の基本的なしくみを理解し、自分たちがよりよい消費生活を営むためには、消費者主権を守っていかうとすることが大切であることが理解できる。
実施期日	平成21年 12月1日(火) 第1校時
授業の概要	ハンバーガーショップをどこに開店するかを考えるシミュレーションゲームを通して、経済活動の選択の概念に気づく学習である。電子ペンで地図を拡大表示し、公共施設や店舗など人の集まる施設、道路、交通機関などの周辺環境を確認し、多くの客がハンバーガーショップに立ち寄る条件を考える。電子ペンを使って人の流れを書き込んだり、周辺の施設との距離を書き込んだりして、話し合い観点を絞り込んで話し合いを深めたり、複数の条件を比べたりして理解を深める。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	品名：デジタル掛図 (東京書籍) その他
担当者名	横山隆光

(5)

校種・学年	中学校 (2) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 2 学年 7 組 37 名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	久保田 修
教科名	数学
単元名・題材名	一次関数
単元・題材の目標	事象の中から一次関数の関係にある 2 つの数量に着目して、式の変形、値の変化の様子、グラフの形などについて考えることを通して、一次関数の特徴を理解する。また、一次関数を利用して問題を解決することができる。
実施期日	平成 21 年 10 月 23 日 (金) 第 2 校時
授業の概要	「一次関数」単元では、事象の中にある一次関数の関係にある 2 つの数量の変化や対応を調べることを通して、 $y = ax + b$ で表される一次関数の特徴について考察する。考察の過程で、表、式、グラフを相互に関連付け、ともなって変わる 2 つの数量の変化の様子を具体的にとらえることが必要となるため、電子ペンとシミュレーションソフトを活用して、図形の変化していく様子や人が時間差をつけて移動する様子を見せ、具体的なイメージを持たせて、課題解決にあたらせる。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	岐阜県中数研学習ソフト
	品名 : その他
担当者名	横山隆光

(6)

校種・学年	中学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 5 組 3 8 名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	長井 円覚
教科名	数学
単元名・題材名	関数
単元・題材の目標	事象の中から x と y の関係が $y = ax^2$ で表されるものに着目し、式やグラフの形、値の変化を調べることを通してその特徴を理解すると共に、事象の中に見いだされる $y = ax^2$ で表されるものに関心を持ち、関数を利用して問題を解決できる。
実施期日	平成 2 1 年 1 0 月 1 9 日 (月) 第 1 校時
授業の概要	本単元は、事象の中から y と x の関係が $y = ax^2$ で表されるものに着目して、値の変化や式、グラフの形などを調べることを通して、この関数の特徴をつかむことがねらいである。2 つの数量の変化や式、グラフの形を調べる際、ともなって変わる 2 つの数量の変化の様子を具体的にとらえることが必要となり、電子ペンを活用して図形が変化していく様子やボールが坂道を転がっていく様子のシミュレーションを提示した。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	岐阜県中数研学習ソフト
	品名 : その他
担当者名	横山隆光

(7)

校種・学年	中学校 (1)年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第1学年 4組 40名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	林 亜以子
教科名	理科
単元名・題材名	身のまわりの物質
単元・題材の目標	身のまわりの物質についての観察・実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について日常生活と関連づけて理解するとともに、さまざまな物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につけ、物質に対する興味・関心を高める。
実施期日	平成21年 12月10日(木) 第5校時
授業の概要	本単元は、身のまわりの現象や物質に対する興味・関心を高め、自然現象や物質を意欲的に調べる能力や態度の育成を図ることがねらいである。身のまわりのものを取り上げて、それぞれの特徴によって仲間わけができたり、その物質にしかない性質を見いだしたりと、生徒にとっては初めて行う化学実験が多い単元である。小学校まではアルコールランプを使って実験を行ってきた生徒が、中学校ではガスバーナーを初めて用いるため、本時では一人一人の生徒が正しく安全にガスバーナーが使えるよう実物投影機や電子ペンをを用いて操作方法を提示し、生徒は安全なガスバーナーの操作を理解した。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他〔 〕
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他〔 〕
ICTを活用する場面	導入 展開 まとめ その他〔 〕
ICTを主に活用する者	教員 学習者 その他〔 〕
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他〔 〕
活用するICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機(OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他〔 〕
活用コンテンツ	自作コンテンツ
	品名: その他
担当者名	横山隆光

(8)

校種・学年	中学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 6 組 3 8 名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	竹中 正仁
教科名	理科
単元名・題材名	化学変化とエネルギー
単元・題材の目標	電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を知り、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解することができる
実施期日	平成 2 2 年 1 1 月 2 5 日 (水) 第 1 校時
授業の概要	塩酸を電気分解すると水素と塩素が発生する化学変化は、イオン、原子、分子のモデルで考えることによって、物質の変化とエネルギーという両面から捉えることが大切である。そこで、電子ペンとシュミレーションソフトを用いて、正極で塩化物イオンが電子を失って塩素原子になり 2 個結びついて塩素分子となること、負極では水素イオンが電子を受け取って水素原子になり 2 個結びついて水素分子となることを理解させる。考察では生徒が実験結果を説明できるモデルを考えてワークシートに書く。話し合いでは、生徒のワークシートを実物投影機で拡大提示し、電子ペンで書き込み、説明させることで理解を深める。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC・書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 []
活用コンテンツ	理科ねっとわーく (科学技術振興機構) 品名 : その他
担当者名	横山隆光

(1 0)

校種・学年	中学校 (3) 年
実施クラス名、児童生徒数 (授業を受ける人数)	第 3 学年 8 組 3 8 名
学校名	池田町立池田中学校
授業者名	森 泰誠
教科名	外国語
単元名・題材名	「 Lesson6 I have a dream 」(NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3)
単元・題材の目標	英文を通してキング牧師の生涯を読み取り、黒人達が命をかけて勝利した人権問題について考え、英文で表現することができる。また、人やものを説明するときの、いろいろな言い方を使って言うことかできる。
実施期日	平成 2 2 年 1 月 1 4 日 (木) 第 2 校時
授業の概要	関係代名詞の文法は文が構造的であり、その構造を視覚的にわかりやすく示すと理解しやすい。そこで、いくつかの関係代名詞の文章を取り上げて、電子ペンと自作コンテンツを使って、文の構造をわかりやすく示して説明する。また、英文読解の場面では、取り込んだ写真に電子ペンで書き込みをして生徒の興味・関心を高めたり、新出単語をフラッシュカード的に提示してリズムカルに練習したりして理解を深める。
授業場所	普通教室 コンピュータ教室 特別教室 体育館 運動場 屋外 共通スペース その他 []
授業形態	一斉学習 グループ学習 個別学習 補習 その他 []
ICT を活用する場面	導入 展開 まとめ その他 []
ICT を主に活用する者	教員 学習者 その他 []
ICT を活用する目的	課題の提示 動機付け 教員の説明資料 学習者の説明資料 繰り返しによる定着 モデルの提示 失敗例の提示 体験の想起 比較 振り返り 体験の代行 その他 []
活用する ICT	電子黒板 コンピュータ プロジェクタ 電子情報ボード 実物投影機 (OHC ・ 書画カメラ) ビデオカメラ デジタルカメラ プリンタ スキャナー インターネット CD-ROM DVD-ROM スピーカー その他 [電子ピアノ]
活用コンテンツ	自作コンテンツ 品名 : その他
担当者名	横山隆光

資料5. 委員会等の実施状況

1. 検討委員会

【第1回検討委員会】

1. 日時： 平成21年9月2日 14:00~16:00
2. 場所： 文部科学省 東館5階4会議室
3. 議事内容：
 - (1) 開会挨拶
 - (2) 文部科学省 挨拶
 - (3) 出席者の紹介
 - (4) 委員長、副委員長選出
 - (5) 委員長挨拶
 - (6) 事業概要の説明及び、今後のスケジュール等について
 - (7) 調査研究方法の説明及び、検討
 - ・効果測定、検証方法について
 - ・機器・ソフトウェア、設置等について
 - ・実施体制について
 - ・実施スケジュールについて
 - (8) 自由討議

【第2回検討委員会】

1. 日時 平成21年11月18日 13:30~16:20
2. 場所 中小企業大学校 人吉校 大会議室
3. 議事内容
 - (1) 文部科学省挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 自由討議
 - 参観授業に関する意見交換
 - 講評・助言(検討委員から)
 - (4) 調査研究実施状況の確認
 - 各校から進捗報告
 - ・実践授業事例の説明
 - ・今後の実践予定について

【報告順】

1. 人吉市立西瀬小学校
2. 人吉市立中原小学校
3. 人吉市立第一中学校
4. 人吉市立第三中学校
5. 池田町立池田中学校

6.大村市立大村小学校

- (5) 全体講評(文部科学省)
- (6) 今後の進め方

【第3回検討委員会】

- 1. 日時 平成22年2月10日 14:00~16:00
- 2. 場所 文部科学省 5階4会議室
- 3. 議事内容
 - (1) 文部科学省挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 調査研究実施状況
 - ・実証授業全体実施状況 清水委員長
 - ・効果測定の実績について 山本副委員長
 - (4) 調査研究実施状況
 - ・各学校からの調査研究報告(各学校)
 - ・協議、意見交換
 - (5) 今後の展開
 - ・最終報告書について
 - ・最終報告書に向けたスケジュール確認

【第4回検討委員会】

- 1. 日時 平成22年3月22日 13:00~14:30
- 2. 場所 東京工業大学 監事室
- 3. 議事内容
 - (1) 文部科学省挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 最終報告書について
 - (4) その他

2. コアメンバー会議

【第1回コアメンバー会議】

- 1. 日時 平成21年9月20日 10:00~12:00
- 2. 場所 東京大学 福武ホール B2 会議室
- 3. 議事内容
 - (1) 文部科学省挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 機器及びコンテンツ等の納品状況
 - (4) 校内研修の実施状況
 - (5) 調査の方法・実施
 - (6) 今後について

【第2回コアメンバー会議】

1. 日時 平成21年10月4日 10:00~12:00
2. 場所 東京工業大学 監事室
3. 議事内容
 - (1) 文部科学省挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 機器及びコンテンツ等の納品状況
 - (4) 第2回会議(11月18日)について
 - (5) 調査の方法・実施、校内研修の実施状況
 - (6) 中間報告、最終報告について
 - ・中間報告書の作成について
 - (6) 今後の進め方について

【第3回コアメンバー会議】

1. 日時 平成21年12月6日 10:00~12:00
2. 場所 東京工業大学 監事室
3. 議事内容
 - (1) 文部科学省挨拶
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 第2回検討委員会について
 - ・当日の討論の結果について
 - (4) 実践授業等の進行状況について
 - ・実証授業の実施状況について
 - ・各学校の実践事例報告数等について
 - (5) 最終成果報告の作成について
 - ・最終報告書目次案と分担について
 - (6) 今後の進め方について

資料6 委員名簿

「電子黒板の活用により得られる学習効果等に関する調査研究」検討委員会名簿 (順不同・敬称略)

委員長

清水 康敬 東京工業大学名誉教授

副委員長

山本 朋弘 熊本県立教育センター情報教育研修部 指導主事

委員

本多 博 長崎県教育センター研修部義務教育研修課 指導主事

大淵 修 人吉市教育委員会教育部学校教育課長

井野木 修 人吉市立西瀬小学校校長

友尻 憲秀 人吉市立第三中学校校長

永田 政信 長崎県大村市立大村小学校校長

中村 富人 人吉市立第一中学校校長

宮本 郷美 人吉市立中原小学校校長

横山 隆光 岐阜県池田町立池田中学校校長

齋藤 晴加 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)

中村 信一 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付企画官

増子 則義 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付情報政策室長

壬生 篤志 文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当)付学習情報係長

調査委員

溝口 博史 人吉市立中原小学校教諭

池田 幸彦 人吉市立西瀬小学校教諭

堺 邦寿 大村市立大村小学校教頭

橋爪 亮彦 人吉市立第一中学校教諭

橋本 勝彦 人吉市立第三中学校教諭

笠原 康弘 池田町立池田中学校教頭